

9月11日
知事選挙

大震災 救援・復興

原発からの撤退

いのちと暮らし、雇用を大切にする県政へ



大震災津波で亡くなられた方に心からお悔やみ申し上げます。被災された皆さんにお見舞い申し上げます。

岩手県が策定した復興基本計画は、最大の課題とすべき被災者の生活再建と生活基盤の回復の位置づけが弱く、被災した県立病院の再建整備が明記されていません。また、福島原発事故の影響で、肉牛が出荷停止となり、県民の放射能被害への不安が広がる中、知事は原発について、明確な態度をとっていません。

いま、県政がなすべきことは、救援・復興に全力をあげ、放射能被害から県民を守ることです。県政の流れを変えて、いのちと暮らしを大切にする県政を築くため、みなさんと心ひとつに全力をあげます。

いのちときずな、心かよう県政を

無所属・日本共産党すいせん

鈴木 つゆみち

1950年生まれ。岩手大学農学部卒。現在、いわて労連議長、いわて食・農ネット副会長など。

なりわい くらしと生業の再生

「住民合意」で

県立病院は再建・拡充 ▶ 高田、大槌、山田の県立病院を再建し整備します ▶ 民間の医療・介護施設にも助成・支援をすすめます

くらしの再建を最優先に ▶ 義援金、被災者生活再建支援金、災害弔慰金の支給を急ぎます ▶ 仮設住宅の環境改善、コミュニティーづくりをはかります ▶ 通院・買い物のバス運行をはかります ▶ 高速道路よりも、国道、JR、三陸鉄道をまず再建します ▶ 震災関連死・孤独死を防ぐ対策を強めます ▶ 希望者全員が入居できる多様な復興公営住宅を建設します

仕事と産業再生に全力 ▶ 漁民や中小業者の要望にこたえ、船の確保、養殖、加工設備の整備を支援します ▶ 再建を希望するすべての事業者を対象にした中小企業向け

助成の抜本的拡充、二重ローンの解消をはかります



原発からの撤退

放射能の被害から県民を守る

▶ 学校、保育園などでの放射線量の測定、除染など安全対策を徹底します ▶ 肉牛、米の検査を徹底し、食の安全を確保します ▶ 損害については国と東電に全面賠償を求めます

▶ 東通(青森)、女川(宮城)の原発にはさまれた岩手から、「原発からの撤退」を発信し、自然エネルギーの先進県をめざします ▶ 自然エネルギーの開発をすすめ新しい仕事と雇用をふやします。

葛巻町では
自然エネルギー 160%

葛巻町では、「太陽光」「風」「バイオマス」
などあらゆる可能性を生かしています。



大変なときだからこそ

「福祉の心」を県政の中心に

一人ひとりを大切にしてこそ、災害にも強い地域社会になります。

●国保税一世帯1万円引き下げ

市町村を財政援助し、協力して引き下げます。

●小学校卒業まで医療費を無料に

県内20自治体ですでに無料。県が助成し、さらに拡充します。

政策の詳細は裏面をご覧ください。

●学校の耐震化・

住宅リフォーム助成を

・倒壊危険校舎484棟を建てかえます。
・消防職員を大幅増員(現在66.1%の充足率、1000人不足)します。

・住宅リフォーム助成制度をつくり民間住宅の改修を促進し、地元業者に仕事を増やします。



救援復興
岩手県民会議の
常任世話人として
復興・支援の
先頭に

救援物資を被災地へ運ぶ

明るい会いわて
2011年8月 No.6

明るい民主県政をつくる会

〒020-0015盛岡市本町通2-1-36 浅沼ビル4階
TEL 019-625-8539 FAX 019-625-8540 <http://akaruiiwate.com>

●「明るい民主県政をつくる会」が政策を
発表しましたので紹介します。

くらし、雇用と営業を しっかり守ります



鈴木つゆみちのお約束

●雇用を増やす緊急の対策を

- ▶ 復旧・復興事業を地元の雇用につなげる緊急雇用対策を。
- ▶ 大企業、誘致企業などの震災を理由にした「雇い止め」などは許さず、雇用を確保する責任を果たさせます。
- ▶ 中小企業振興条例をつくり、抜本的な支援をします。
- ▶ 農林漁業を基幹産業として位置づけ、自給率を高め、地産地消を促進します。新規就農者に「支援制度」を創設します。

●医療と福祉の拡充へ

- ▶ 公立病院と地域の医療機関とのネットワークで地域医療を確立します。
- ▶ 知事を先頭に医師確保・養成に全力。無床化された県立地域診療センターの入院機能復活をめざします。
- ▶ 特別養護老人ホームの緊急増設で待機者をなくします。

●子育て・教育の支援

- ▶ 保育所の増設、学童保育の整備拡充をはかります。保育料の軽減、第三子からの無料化をすすめます。
- ▶ 35人学級をすべての小中学校実施をめざし、当面小学校3・4年生に拡充します。

●TPP参加に反対し岩手の農林漁業を守ります

●憲法を県政に生かし、青年・女性の声を県政に

鈴木つゆみちさんはこんな人

働く者の声を代表

賃金未払いや解雇・倒産など、年700件の労働相談を解決。若者の雇用を拡大するため、県との交渉などに全力。「困った人をほうっておけない」性格、頼りになる人です。早朝の岩手山が大好き。



岩手県政は 民主、自民も地域政党も「オール与党」で…

岩手県政は、予算には日本共産党以外が全員賛成。知事提案への賛成率が、民主99.8%、自民99.5%、地域政党98.3%、公明98.5%、社民96.2%と、文字通りの「オール与党」状態です。いま、何がすすんでいるのでしょうか。

■ダムなどムダ遣い

ムダと自然破壊の築川ダム(530億円)をひきつづき推進。国道、JR、三鉄よりも三陸縦貫道などの高速道路を優先。

■その一方で病院は切り捨て

被災した陸前高田、大槌、山田の県立病院も再建計画なし。廃止の方向。

■国保への支援ゼロ

「高すぎる」と県民が悲鳴をあげているのに。

市町村国保事業への
県費補助(1人あたり)

岩手県	0円
秋田県	946円
山梨県	1715円
群馬県	756円



「被災地にとって病院は命綱、なんで再建してくれないのか」

(陸前高田市で)

■原発にはだんまり

知事は原発をどうするかアンケートに「無回答」(6月16日「朝日」)。6月の県議会では、原発からの撤退を求める請願に民主、自民が採決に反対。民主には岩手でも電力関係労組から献金。

「生活道路を先になおしてくれないか」
(大槌町、復興計画地域説明会で)

地域政党の前県議は

知事提案の予算にすべて賛成。

花泉診療所の民間移管に賛成して、県民の願いに背を向けました。

一刻も早い復興と「原発ゼロ」へ 県民が力あわせ県政を変えましょう



菅原 則勝
日本共産党岩手県委員会
委員長



藤沢 光一
岩手県商工団体連合会
会長



久保田 彰孝
農民運動岩手県連合会
会長



中野るみ子
岩手県医療労働組合連合会
委員長



佐藤 一則
岩手県自治体労働組合総連合
委員長



渥美 健三
元盛岡医療生協理事長
明るい会代表